KOBE PHILHARMONIC

Happy・Friendly・Open-mind　神戸と街と音楽と

第68回 定期演奏会
神戸フィルハーモニック

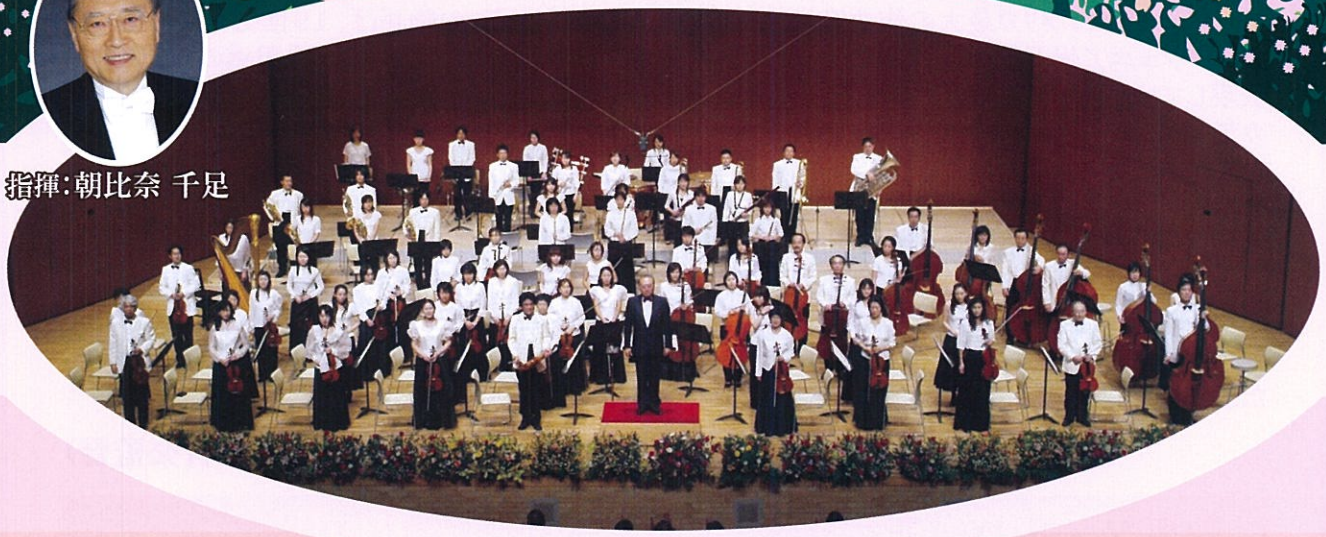
若き情熱と高揚の時

ディーリアス：春、初めてのカッコウをきいて
Delius　On hearing the first cuckoo in spring

コープランド：バレエ組曲「アパラチアの春」
Copland　Appalachian Spring

シューマン：交響曲第1番 変ロ長調 Op.38「春」〈マーラー版〉
Schumann＝Mahler　Symphony No.1, B-frat Major Op.38 "Spring"

指揮：朝比奈 千足



2014 6.21(土)

4:00pm開演（3:30pm開場）

神戸文化ホール・大ホール

神戸市営地下鉄／「大倉山駅」下車すぐ、バス／「大倉山停留所」下車すぐ
阪急・阪神・山陽／「高速神戸駅」より徒歩約8分、JR／「神戸駅」より徒歩約10分

入場料：全席自由（消費税込） ＊就学前のお子様はご遠慮下さい。
[一　般　2,500円前売]（当日3,000円）　[高校生以下　1,000円前売]（当日1,000円）

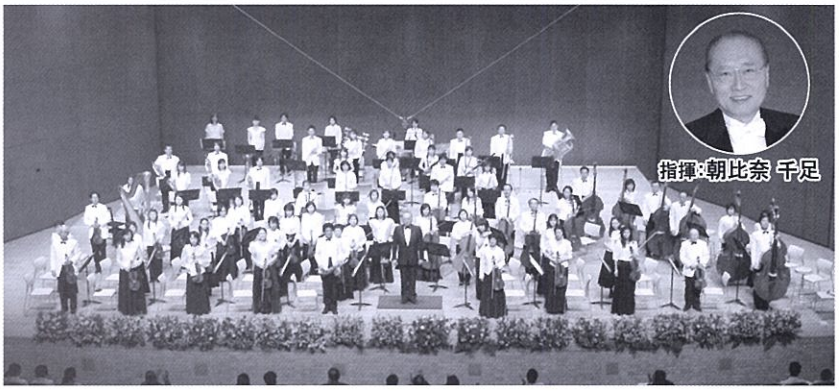
【入場券発売】

神戸文化ホールプレイガイド（078-351-3349）
神戸コンサート協会（078-805-6351）（FAX予約078-805-6352）
①電話またはFAX予約によるチケット郵送サービス可。
②FAX予約は演奏会名・チケット種別・枚数と名前・住所・電話番号を明記の上、お申し込みください。

チケットぴあ（0570-02-9999）[Pコード 226-259]
神戸フィルハーモニック公式HP
http://www.kobephilharmonic.jp/

■主催／神戸市・(公財)神戸市民文化振興財団・神戸フィルハーモニック・神戸フィルハーモニック後援会

●お問い合わせ（公財）神戸市民文化振興財団（078-351-3597）http://www.kobe-bunka.jp/



春三題

6月のコンサートに、いささか季節外れのタイトルがついた3曲を選んでしまいました。でもこの「春」という言葉には青春とか明るい未来への予感というような意味合いもあります。今回取り上げた曲は、作曲家の各々が人生の内で最も気力が充実し高揚した時代に残した作品だったり、その物語が若々しく情熱的な情景を表した音楽なのです。

ディーリアスという人はとても華奢で柔らかい音色を大切にした作曲家です。水彩画を思わせる淡白な色合いの、叙情的な作品が最大の特徴です。彼の名声が確実になった最も充実した時代の曲の一つで、比較的小編成のオーケストラで演奏される小品を聴いていただきます。カッコウの密やかな鳴き声をクラリネットで吹きます。判りにくいかもしれませんので耳を澄ませてお聞きください。

コープランドはアメリカ最大の作曲家です。この「アパラチアの春」の物語は、19世紀の初め頃のペンシルヴェニア州が舞台で、若い開拓民夫婦の豊かで幸福な生活の様子を、透明感のある音色で表現しています。とても親しみやすいメロディーが後半で聞こえます。神戸フィルは久しぶりにアメリカ音楽を取り上げます。ご期待ください。

シューマンは感受性の強い作曲家でした。彼のピアノ曲や歌曲はドイツロマン派の音楽そのものです。しかし交響曲作品では、彼の熱いロマンティシズムが実際の作曲の際に充分書き尽くせていないのでは、というもどかしさがいつも残ります。交響曲第1番も青春を謳歌するような颯爽とした名曲ですが、今回私たちは、名指揮者マーラーがシューマンの元々思い描いていた響きに近づくために改編した楽譜を使用します。シューマンの気力が最も充実した青春時代の意気盛んな音楽をお聴きください。

朝比奈 千足（指揮・音楽監督）

神戸フィルハーモニック　Kobe Philharmonic

神戸市民のオーケストラとして1979年に発足した神戸フィルハーモニックは、幅広い年齢層のファンの方々に支えられて活動を続けています。デビューコンサートをその翌年1月に開催し、以降、年2回の定期演奏会やニューイヤーコンサートを行ってきました。他にも、後援会主催のコンサートや諸団体からの依頼演奏を行うなど、多彩な演奏活動を展開しています。このように、市民の皆様に身近に、気楽に楽しんでいただけるよう、低廉で良質なクラシック音楽の魅力や楽しさを提供し続けてきた活動が評価され、1997年に神戸市文化活動功労賞を受賞しました。また、音楽を通じて青少年の育成やクラシック音楽の普及にも力を注ぎ、バレエや日本舞踊とのコラボレーション、少年少女合唱団や中学校の吹奏楽部との共演など、新たな試みにも積極的にチャレンジしています。そして、音楽活動を通じて国際交流も行っており、1991年にはオーストラリアからクィーンズランド・フィルを迎えて合同演奏会を行い、2010年には神戸市の姉妹都市であるオーストラリアのブリスベンにて、小編成での訪問演奏を行いました。2011年、東日本大震災が日本を襲いましたが、阪神淡路大震災を経験した私たちであるからこそ、復興への思いを寄せ、チャリティーコンサートと南三陸町歌津地区へ訪問し、演奏会や被災された方々との交流を行っています。我々は、これからも、より多くの方々にクラシック音楽に親しんでいただけるよう、日々、演奏活動に励む所存です。